

一般社団法人 日本薬学教育学会 第7回理事会 議事録

開催日時：令和5年2月7日（火）13：00～15：20

開催場所：WEB 会議システム（ZOOM）による開催

理事：乾 賢一、中村 明弘、有田 悦子、入江 徹美、木内 祐二、小佐野 博史
鈴木 匡、高橋 一栄、武田 香陽子、長谷川 洋一、平田 收正、松浦 正佳、
山田 成樹

監事：林 正弘

<欠席> 理事：石川 さとこ、三浦 典子、安原 智久

監事：亀井 美和子

事務局：横川 和代

議事に先立ち、定款第35条第2項に基づき、議事録には乾理事長と林監事が署名又は記名押印することが確認された。

議事：

1. 2022年度第5回および第6回理事会の議事録案について（審議事項） ※資料あり

中村副理事長より2022年度第5回および第6回（メール開催）の議事録（案）に基づいて議事の概要が報告され、議事録として承認された。

2. 理事の辞任について（報告事項）

安原理事から2023年1月31日付で辞任届が提出されたことが報告された。安原理事の辞任により理事は15人となるが、定款第21条第1項第1号に規定されている理事の定数（10名以上16名以内）を満たしていることが確認された。

3. 理事の業務担当について（審議事項） ※資料あり

安原理事の辞任に伴い、改めて理事の業務担当を以下の通り確認し、学術担当の責任者は鈴木理事が務めることとなった。

- ・ 総務・企画担当：○中村明弘、長谷川洋一
- ・ 財務担当：○有田悦子、長谷川洋一
- ・ 広報担当：○石川さと子
- ・ 学術担当：○鈴木 匡、有田悦子、武田香陽子
- ・ 大会担当：○入江徹美（第8回大会）、三浦典子（第9回大会）
- ・ 連携担当：○木内祐二、高橋一栄、山田成樹、松浦正佳
日本私立薬科大学協会との連携：中村明弘、長谷川洋一
日本薬学会薬学教育委員会との連携：中村明弘、武田香陽子
- ・ 大学教育担当（仮称）：小佐野博史、鈴木 匡、平田收正
- ・ 生涯教育担当（仮称）：高橋一栄、松浦正佳、山田成樹

4. 2022 年度学会賞（教育研究奨励賞・教育実践奨励賞）の応募状況について（報告事項）※資料あり
事務局から 2022 年度学会賞の応募がまだなく、2 月 1 日に会員にリマインドメールを送信したことが報告された。締切日は 2 月 20 日（月）であり、理事長から各理事に改めて大学関係者および医療現場の薬剤師に本賞への応募を勧めるよう依頼がなされた。

5. 日本薬学教育学会第 8 回大会、第 55 回日本医学教育学会大会および第 16 回日本保健医療福祉連教育学会学術集会でのシンポジウム開催について（審議事項）※資料あり
木内理事から資料に基づいて 2023 年度に開催される標記の学術集会において、多職種連携教育の理解と実践を促進するシンポジウムを、日本医学教育学会、日本保健医療福祉連携教育学会などの教育関連学会と共催・後援することが提案され、承認された。
 - 第 8 回日本薬学教育学会大会（8/19・20、熊本） IPE シンポジウム案
テーマ：「モデル・コア・カリキュラム同時改訂と多職種連携教育への期待と課題（仮）」
後援案：日本医学教育学会、日本歯科医学教育学会、日本保健医療福祉連携教育学会など
 - 第 55 回日本医学教育学会大会（7/28・29、長崎） IPE シンポジウム案
テーマ：「モデル・コア・カリキュラムを軸とした共にお互いからお互いについて学び合うための多職種連携教育の設計」
共催（後援）案：日本医学教育学会多職種連携部会、日本薬学教育学会、日本保健医療福祉連携教育学会、日本プライマリ・ケア連合学会、日本臨床検査学教育協議会など
 - 第 16 回日本保健医療福祉連教育学会学術集会（11/26、藤田医大） IPE シンポジウム
後援案：日本医学教育学会多職種連携部会、日本薬学教育学会、日本保健医療福祉連携教育学会、日本臨床検査学教育協議会、日本作業療法教育学会、日本社会福祉士会など

6. 第 33 回日本医療薬学会年会での卒後教育に関するシンポジウムの共催について（審議事項） ※資料あり
高橋理事から資料に基づき第 33 回日本医療薬学会年会において卒後教育に関する以下のシンポジウムを日本保健医療福祉連携教育学会と共催する企画が提案され、承認された。
 - 第 33 回日本医療薬学会年会（11/3・4・5、仙台）
テーマ：「次世代を担う薬剤師の育成に向けた卒後教育の新展開」
共催：日本薬学教育学会、日本保健医療福祉連携教育学

7. ICT 教育委員会の設置について（審議事項） ※資料あり
中村副理事長より、資料「ICT 教育委員会設立に関する趣意書」に基づいて設置の趣旨、目的、主な活動、委員候補者が説明された。定款第 38 条第 1 項に基づき ICT 教育委員会の設置が承認され、第 2 項に基づいて委員長および委員が承認されたので理事長が委嘱することとなった。当該委員会に理事が含まれないので、理事会には委員長が活動報告を行うこととした。

8. 新しい薬学教育モデル・コア・カリキュラムを考える FD ワークショップの開催について（審議事項） ※資料あり

鈴木理事から資料に基づいて以下のワークショップを開催することが提案され、承認された。

○新しい薬学教育モデル・コア・カリキュラムを考える FD ワークショップ

東海薬学連携コンソーシアム・日本薬学教育学会薬学実務実習委員会共催

・日時：2023 年 3 月 12 日（日）14：00～19：00

・参加：日本薬学教育学会会員 限定 参加費 無料

・定員：30 名

・会場：名古屋市立大学薬学部（田辺通キャンパス）

9. 第 7 回日本薬学教育学会大会収支報告について（報告事項） ※資料あり

有田理事から資料に基づいて第 7 回大会の収支報告が行われた。収入合計は 5,620,021 円で、うち参加費収入 3,650,000 円、本部準備金収入 500,000 円、抄録集広告料収入 1,260,000 円、商業展示収入 210,000 万円であった。支出についてはオンライン開催のため会場費が 101,274 円となり、ハイコムへ委託費が 2,162,600 円であった。本部準備金 500,000 円を返金した上で、さらに 745,274 円を本部繰入金とした。今後、事務局にて会計監査を行う予定である。

10. 第 8 回日本薬学教育学会大会準備状況報告（報告事項）

入江理事から第 8 回大会の準備状況が報告された。シンポジウムとワークショップの公募を行い、それぞれ 14 件と 10 件の応募があった。すべて採用するため、プログラムの 1 日目は 18 時 30 分まで、2 日目は 16 時 30 分までとなる予定である。一般発表はポスター発表とする。昼食は弁当の事前予約をとる予定で、懇親会の開催は控える。文部科学省、厚生労働省、各団体等への後援依頼はほぼ終了した。2020 年度からオンラインで行ってきた定時社員総会を、2023 年度は大会期間中に対面で開催するよう調整を行っている。

11. 適格請求書発行事業者の登録申請について（審議事項）

本法人は年間の収入が 1 千万円を超えていないため消費税の非課税事業者であり、現時点では適格請求書発行事業者の登録申請を行わないこととした。

12. 委員会報告（報告事項）

・編集委員会 ※資料あり

入江理事から資料に基づいて、1 月末に第 6 巻を発行したこと、J-STAGE 公開状況および論文投稿・審査状況が報告された。

・倫理教育委員会

有田理事から、委員会で実施した倫理教育に関する調査結果を 3 月 26 日（日）に日本薬学会第 143 年会で発表することが報告された。本学会の第 8 回大会では、コアカリ改訂の内容を実践につなげる教育について考えるワークショップを実施する予定である。

・国際化委員会 ※資料あり

武田理事より資料に基づき、第8回大会でシンポジウムを開催することが報告された。また、学会誌「薬学教育」に国際化に関する次の論文を投稿準備中である。

・ 中長期ビジョンワーキンググループ

入江理事から、ワーキンググループで行ったワークショップの概要を「薬学教育」第6巻冊子体に掲載したことが報告された。ワークショップ参加者にはプロダクトを実現するためのアクションを起こして欲しいとファシリテートしている。

13. 担当理事報告（報告事項）

・ 学会ホームページ更新について（報告事項） ※資料あり

石川理事が準備した資料に基づいて、中村副理事長より学会ホームページの更新が報告された。入江理事からは第8回大会のホームページの紹介が行われた。

14. 理事長報告（報告事項）

・ The 11th Asian Association of Schools of Pharmacy (AASP) Conference 2023 の開催について

※資料あり

乾理事長から資料に基づいて、2023年8月4～6日に第11回AASP conferenceが開催されることが紹介された。

15. 会員登録状況報告（報告事項） ※資料あり

事務局より資料に基づいて2023年2月2日時点の会員数の増減・会費納入状況が報告された。個人会員は739名で会費納入率84.3%、学生会員は58名で会費納入率は36%、機関会員は67件で会費納入率98.5%、賛助会員は8件で会費納入率100%であった。

16. その他

・ 次回理事会の開催について

学会賞の受賞者を決定し、受賞者の第8回大会での講演要旨を要旨集に掲載するため、4月下旬に開催する。

以上の議事内容を明確にするため、本議事録を作成し、理事長及び出席監事がこれに署名捺印する。

2023年5月9日

一般社団法人 日本薬学教育学会

理事長 乾 賢一

監 事 林 正弘